

# 潮音寺だより

第 289 号  
平成 19 年 11 月  
電話 052-671-4831  
ファックス 052-671-4856

＜ホームページ＞ <http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/>

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬 1 -10-11



眠りえぬものに  
夜はながく

若くありたい  
健康がほしい  
死ぬのが怖い  
愚癡ればほど  
愚癡るほど  
愚痴ればほど  
愚痴るほど  
闇は深まり  
不安は募り  
苦しみが増す  
まさに  
知るべきや  
法に生かされ  
弥陀と  
共に生き  
けして  
死なない  
久遠の生命  
あることを

『シンガーラへの教え』③

この經典の特色は、一般の人々(在家)の生活規範を説いているというところ(1)です。種々の人間関係において守るべき徳目が、具体的に述べられ、実生活の指針を示すものとして、道徳心の欠如が懸念される現代、ぜひとも多くの人が読んでいただきたい經典であります。

- 釈尊は、先ずもつて、(1)殺生と(2)盗み(3)虚言といわれるものと(4)他人の妻に近づいたりを戒めておられます。そして(1)貪欲(2)怒り(3)恐怖(4)愚迷とによつて法を犯す者は、名声が滅没する。(5)酒類など忿情の原因に熱中する(6)時ならぬのに街路を遊歩する(7)熱中する(8)祭礼舞踊など見せものの集みに熱中する(9)賭博(10)遊惰の原因に熱中する(11)悪友になじむ(12)怠惰にふけぬ(13)われら財を散らす(14)であ

ると戒められています。

財産については、四分の一はみずから享受し、四分の二の財をもつて(農耕・商業などの)仕事を営み、また(残りの)四分の一は蓄積し、驛之の備えとするよう勧められておられます。

以下は、先々回の「父母は東方である」「先回の「師は南方である」「夫妻は西方である」の続きであります。

◎北方 友人・朋輩関係

実に、良家の子は次の五つのしかたで、北方に相当する友人・朋輩に奉仕する。すなわち、(1)施与(2)親しみあるやさしいことば(愛語)と(3)人のために(利行)と(4)協同(5)欺かないことによつてである。これらの五つのしかたによつて、良家の子は、北方に相当する友人・朋輩に対して奉仕する。

また友人・朋輩はこれらの五つのしかたによつて、良家の子を愛する。す

なわち、(1)かれが無気力なときにももつてくれる。(2)無気力なときに、その財産をまもつてくれる。(3)恐れおののいているときに、庇護者になつてくれる。(4)逆境に陥つてもかれを捨てない。(5)かれのちの子孫をも尊重する。

実に、これらの五つのしかたによつて、良家の子は、北方に相当する友人・朋輩に奉仕する。また友人・朋輩はこれらの五つのしかたによつて良家の子を愛する。このようにして、かれの北方は護られ、安んずであり、心配がない。

ただ、釈尊は、友人について、「(1)何でも取つてゆく友(2)ことばだけの友(3)甘言を語る友(4)遊蕩の仲間、これら四つは敵であると賢者は知つて、かれらを遠く避けるがよい。あたかも恐ろしい道避けるように」と述べられています。

◎下方 主人と使用人の関係

実に、主人は次の五つのしかたで、下方に相当する奴僕・傭人に奉仕しなければならぬ。すなわち、(1)その能力に応じて仕事をあてがう、(2)食物と給料とを給与する、(3)病時に看病する。(4)すばらしい珍味の料理をわかち与える、(5)適当なときに休息させることによつてである。

実に、(1)これらの五つのしかたによつて主人は、下方に相当する奴僕・傭人に対して奉仕するのである。

また奴僕・傭人は次の五つのしかたで主人を愛さねばならぬ。すなわち、かれらは(1)主人よりも(朝早く起き、(2)のちに寝に就き、(3)与えられたもののみを受け、(4)その仕事をよく為し、(5)主人の名譽と稱賛とを吹聴する。実にこれら五つのしかたによつて、立派な主人は、下方に相当する奴僕・傭人に奉仕する。また奴僕・傭人はこれら五つのしかたによつて立派な主人を愛するのである。

このよつにしてかれの下方は護られ、安全で、心配がない。

.....

今日の社会では、上司と部下の関係と考へてもよいかと思ひます。立場上、上下の関係はお互いが認められた上、人間同士といつ心の触れ合いを忘れてはならないといつておしやう。主人・上司から、病時に看病してもらい、珍味の料理をいただいたら、もう、たまらないでしょう。

#### ◎上方 世俗人と修行者の關係

実に、良家の子は次の五つのことがらによつて、上方に相当する修行者とバラモンとに奉仕すべきである。(1)親切な身体の行為、(2)親切な口の行為(1)(2)(3)親切な心の行為(思ひ、(4)門戸を開かれぬこと、(5)財物を給与するに力をつけてある。

実にこれら五つのしかたによつて、良家の子は、上方に相当する修行者とバラモンとに奉仕するのである。ま

た、修行者とバラモンとは次の六つのしかたによつて良家の子を愛するのである。

すなわち、(1)悪から遠ざからしめ、(2)善に入らしめ、(3)善い心をもつて愛し、(4)いまだ聞かないことを聞かしめ、(5)すでに聞いたことがらを純正ならしめ、(6)天への道を説き示す。実にこれら五つのしかたによつて、上方に相当する修行者とバラモンとは良家の子によつて奉仕され、また修行者とバラモンとはこれら六つのしかたによつて良家の子を愛するのである。このよつにしてかれの上方は護られ、安全であり、心配がない。

.....

最後に、釈尊は、「施与、親愛のごとくばを語るべし、この世で人のためにつくすこと、あれこれの事柄について適当に協同するべし、この四つが世の中における愛護であり、賢者は実践せねばならない」と結はれています。

## 食堂 しょくどう

現代語に訳すと、レストラン、あるいはダイニングルームとなるのだろうか。しかし仏教の世界では、この空間も修行の場。「齋」「つまり仏教の食事を行う堂のこと」「齋堂」とも呼ばれる。

また、作法も厳しかった。食事の容器はその場で各自が清め、いっさいのことは禁じられ、器物のふれあう音、汁をすすめる音、物をかむ音も許されず、静粛が支配しているようではなければならぬといわれていた。現代人の生活は、それは全く逆。食べながらしゃべるのがマナーとされているのだから、もれでは「食堂」ではなく、話堂？

仏陀ぶつだの時代から、精舎・寺院には必ず食堂が設けられ、寺院機構

が整ってからも、一伽藍がらんの中には、塔、金堂、鐘楼かねどうなどごと並び、必ず食堂が加えられる。中国語では「食堂」と訳された。

『仏教のことば』早わかり事典

## 雑記

### ▼位牌堂落慶・晋山式

今回の位牌堂落慶・晋山しんざん式の法要を厳修させていたたくまでには、檀信徒各位には勿論のこと、様々の方々に大変お世話になりました。本来ならば、「寄付頂いた方々全員のご芳名を掲載し、お礼申し上げますなければならないところ、誌面の都合上、誠に心苦しい限りですが、十口以上及び特別寄付を頂戴した方のみご紹介とさせていただきます。多くのごお許しにご解下しますよう、お願い申し上げます。



なお、総工費は一億八百万円、仏具法服費、四百万円となっております。

一、山門 清水久雄・浩子  
一、特別寄進 鬼頭一誠

一、位牌堂丸窓（スタンドグラス）

木村貞賢・初恵 日野一彦・道子

一、木魚（一尺四寸） 藤本和夫

一、梨地曲桌、伊藤勇夫

一、位牌堂仏具 村瀬かね・勝男

一、説経箱 江崎恒美 岩田志子

一、象香炉 日比みち

一、水冠みづかむり 弘子 道真衣みちまこと 法要袴ほつぽん

一、小島鎌次郎 水野武彦 山田春男

一、小島浩資 田中雪枝 佐藤透

一、田中宏（外八名）

一、十三仏修理

一、伊藤尚和 江崎正一 荒谷政義

一、小島卓司 佐藤透 小島浩資

一、以上（敬称略）

### ◆松手入れ晋山の日は

近づけり沐魚